

MX - 6000による発信規制システム

電話勧誘における規制強化、消費者保護の声が高まる中

『営業コールを拒否』されたお客様への再コール防止に有効な発信規制システム。

MX - 6000では、PCアプリケーションからの簡単な制御により、既存の電話設備を活用したユニークな発信規制システムをローコストで構築することができます。

主な特徴

既存電話設備(PBX等)とNTT局との間にMX-6000を挿入設置するシンプルな構成です。

既設の電話設備を交換する必要がありません。

着信・発信における電話操作は今までどおりの操作で行う事ができます。

アナログ、INS64およびINS1500に対応します。

各回線を混在して使用できます。

回線数は最小4回線から最大60回線までサポートします。(4回線単位の増設)

INS64は2(4B)~30回線(60B)、INS1500は1~2回線。

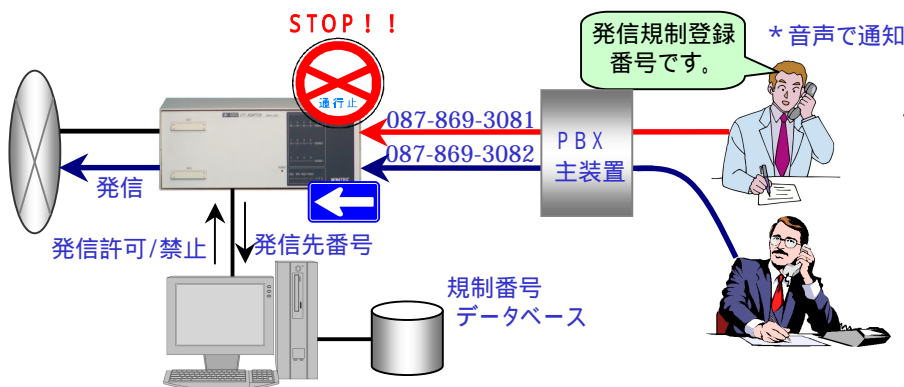
発信規制時は、音声または特殊なトーンでお知らせします。

*再生音声はお客様にて自由に作成可能です。(作成ユーティリティ標準添付)

PCへ通知する発信先電話番号は184等の特番、マイライン事業者番号等を削除して通知します。

PCアプリケーション開発をサポートする開発キット(SDK)標準添付。

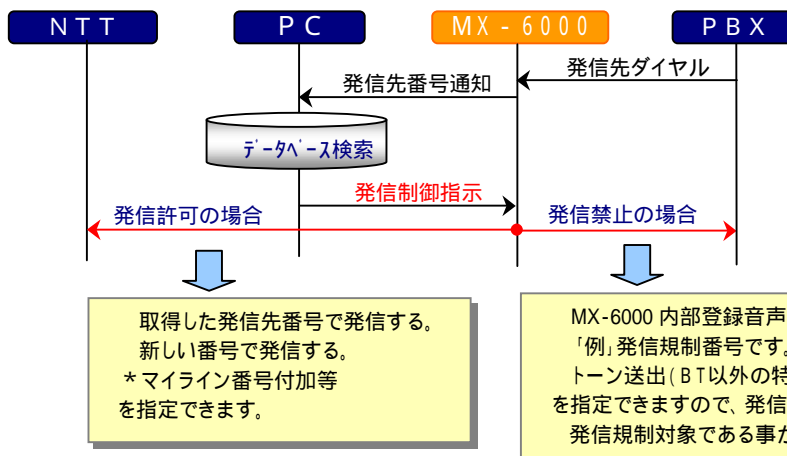
システム構成例



MX-6000電源断では局線側とPBX側はスルーとなりますので、トラブル発生時にも通常のアウトバウンド業務を継続する事ができます。

一般アナログ電話機の直接接続も可能です。

制御手順



発信先相手番号をダイヤルします。
取得した発信先番号をPCに通知します。
登録の有無をデータベースより検索します。
「発信規制する」「発信許可する」を指示します。
発信許可する場合、MX-6000が発信処理を行います。

取得した発信先番号で発信する。
新しい番号で発信する。
*マイライン番号付加等を指定できます。

MX-6000 内部登録音声を再生する。
「例」発信規制番号です。
トーン送出(BT以外の特殊トーン)を指定できますので、発信した番号が発信規制対象である事が分かります。